



園長だより

いっしょに楽しむ子

令和6年9月25日
富士市立昭和幼稚園

暑さ寒さも彼岸まで…の言葉とおりでしょうか、今年の過酷な残暑もようやくピークを過ぎたようです。プールでの水遊びを1週間延ばし、運動会ごっこも遊戯室での遊びを中心にしてきました。これから10月に向けては、「お外でもっと遊びたいな。」という子どもたちの願いに応え、園庭で過ごす時間を大切にしていきたいと思います。

ひよこ組



防災の日を受けて、昭和幼稚園でも避難訓練を実施しました。ひよこ組の子どもたちも上手に防災頭巾をかぶり、きちんと並んで避難することができるようになりました。興亜グラウンドでのどんぐり拾いも、青組のお兄さん・お姉さんとの手つなぎで、しっかり歩き切りました。わらべ歌遊びや運動会ごっこでは、友達と“いっしょに楽しむ”姿がたくさん見られます。

さくら組



9月に入ってから毎日のようにプールでの水遊びを楽しみました。水とすっかり仲良しになり、顔にかかる水しぶきも気にせず、ワニさん歩きや玉入れが楽しそうでした。どんぐり拾いは、さくら組の友達同士でペア活動。約束もきちんと守れます。遊戯室では、運動会に向けて、体操遊びやリズム遊びを楽しんでいます。キメのポーズがとっても可愛いですよ！

青組



風邪・インフルエンザが流行する季節を前に、『手洗い講座』を実施しました。昨年度学んだ“忍者のポーズ（咳エチケット）”はきちんと覚えていました。手洗いチェッカーで、汚れの落ち方を確かめると、洗い残しが多いことに驚いていました。遊戯室では、竹太鼓を使ったリズム遊びが始まりました。掛け声や音楽に合わせて演奏する姿に、年長としての成長を感じます。